

痔核手術における術前推奨事項

痔核手術における術前推奨事項

術前推奨	<p>全身鎮痛</p> <ul style="list-style-type: none">非経口グルココルチコイド(グレード B)早期回復期に十分な鎮痛が間に合うように投与される従来の NSAIDs(グレード B)、COX-2 選択的阻害剤(グレード B)、およびパラセタモール(グレード B) <p>代替介入</p> <ul style="list-style-type: none">下剤(グレード A)経口メトロニダゾール(グレード A) <p>鎮痛のための局所麻酔(LA)</p> <ul style="list-style-type: none">麻酔の補助としての肛門周囲局所麻酔(LA)浸潤(グレード A)麻酔の補助としての神経ブロック(グレード A)
------	---

痔核手術における術中推奨事項

痔核手術における術中推奨事項

術中推奨	<p>全身鎮痛</p> <ul style="list-style-type: none">早期回復期に十分な鎮痛が間に合うように投与される従来の NSAIDs(グレード B)、COX-2 選択的阻害剤(グレード B)、およびパラセタモール(グレード B)ステーブル痔核手法(グレード A)
------	--

痔核手術における術後推奨事項

痔核手術における術後推奨事項

術後推奨	<p>全身鎮痛</p> <ul style="list-style-type: none">従来の NSAIDs(グレード B)、COX-2 選択的阻害剤(グレード B)パラセタモール(グレード B)、低強度から中強度の痛み非オピオイド鎮痛薬を補うための、中強度から高強度の痛みに対する強オピオイド(グレード B)非オピオイド鎮痛薬を補うための、低強度から中強度の痛みに対する弱オピオイド(グレード B) <p>代替介入</p> <ul style="list-style-type: none">下剤(グレード A)経ロメトロニダゾール(グレード A)
------	---

痔核手術には非推奨

痔核手術には非推奨

術前 非推奨	<p>全身鎮痛</p> <ul style="list-style-type: none">ガバペンチノイド(グレード D) 術式固有のエビデンスがなく、ベネフィット:リスク比がこの外来治療にとって十分な有利性がないため。ケタミン(グレード D) 術式固有のエビデンスがなく、ベネフィット:リスク比がこの外来治療にとって十分な有利性がないため。デキストロメトルファン(グレード D) 決定的でない術式固有の
-----------	---

	<p>エビデンスかつ譲渡可能なエビデンスに基づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経皮フェンタニルを含む強オピオイド(グレード D)術式固有のエビデンスかつ譲渡可能なエビデンスの欠如によるため <p><i>局所療法</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面局所麻酔剤(EMLA) (グレード B)有益な鎮痛作用の欠如を示す限定的で術式固有のエビデンスに基づく <p><i>鎮痛のための局所麻酔(LA)</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙骨局所麻酔(LA)またはオピオイド(グレード D)、ベネフィット:リスク比がこの外来手法にとって十分な有利性がないため <p><i>脊髄くも膜下麻酔への補助</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脊髄液への補助剤の添加(グレード D)、潜在的な副作用による
<p>術中 非推奨</p>	<p><i>代替介入</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボツリヌス毒素(グレード D)、術後期間における鎮痛効果のための術式固有のエビデンスに矛盾があるため <p><i>手術への補助</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外側括約筋切開術(グレード D)限定的で一貫性のない術式固有のエビデンスによる鎮痛のため ・ 肛門拡張器(グレード D)限定的で術式固有のエビデンスに基づく鎮痛のため
<p>術後 非推奨</p>	<p><i>全身鎮痛</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガバペンチノイド(グレード D) 術式固有のエビデンスがなく、ベネフィット:リスク比がこの外来治療にとって十分な有利性がないため。 ・ ケタミン(グレード D) 術式固有のエビデンスがなく、ベネフィット:リスク比がこの外来治療にとって十分な有利性がないため。 ・ デキストロメトルファン(グレード D) 決定的でない術式固有のエビデンスかつ譲渡可能なエビデンスに基づく <p><i>代替介入</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボツリヌス毒素(グレード D)、術後期間における鎮痛効果のための術式固有のエビデンスに矛盾があるため ・ フラボノイド(グレード D)、限定的で決定的でない術式固有のエビデンスのため

- ・ **肛門括約筋弛緩剤**(グレード D)限られた術式固有のエビデンスに基づく鎮痛のため

局所療法と止血ドレッシング

- ・ **局所用グリセリルトリニトレート**(グレード D)、治療の具体的データに矛盾があるため
- ・ **局所カルシウムチャネル遮断薬**(グレード D)術式固有のエビデンスが限られているため
- ・ **アルギン酸カルシウムドレッシング**(グレード D) 治療の具体的証拠が限られているため